

事業名 CD	0103010213	老人福祉センター管理運営事業
細分化した事業名	0	
事業担当課室 CD	200300	福祉課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	中項目	地域の絆を深める福祉社会の実現	
	小項目	高齢者福祉の充実	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	韮崎市老人福祉センター設置・管理使用料条例及び施行規則
関連する事業	0		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	高齢者に保養及び健康増進などを通じ、社会参加の場を提供するため、施設を適正に管理運営する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	施設及び利用者(高齢者)
これまでの改善経過	平成18年度から指定管理者制度を導入し、韮崎市社会福祉協議会が指定管理者に指定された。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 ○市 ■委託 ○補助金 ○その他(0)</p> <p>市老人福祉センターの維持管理運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区をバスで送迎し、高齢者が入浴、カラオケ、趣味活動等を楽しむ場として利用する 施設概要：大浴場・大広間、管理事務室、送迎バス 委託先： 韮崎市社会福祉協議会
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	<p>多くの高齢者に入浴や趣味活動等で利用してもらう。</p> <p>施設を適正に管理運営する。</p>

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度		20年度		21年度	
A	事業費 (千円)	18,344		15,987		14,054	
財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
	県支出金	0		0		0	
	市債	0		0		0	
	その他	0		0		0	
	一般財源	18,344		15,987			
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	552		553		546	
D	総事業費(A+C) (千円)	18,896		16,540		14,600	
*参考	H21)市民1人当りの事業コスト	455 円		H21)市民1人当りの行政サービス費用		579,596 円	

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	管理日数	(日)	291	293	290
	利用者数	(人)	18,940	21,495	22,309
	0 (算出式数値)	0			
成果指標	1日当たり利用人数 (算出式数値)	利用人数/管理日数 (人) (22,309人/290日)	65	73	77
	0	0			
	0	0			
効率指標	1人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/利用者数 (円) (14,600,00円/22,309人)	998	769	654
	使用料収納率	0			
	0 (算出式数値)				

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 利用者の満足度も上々で、指定管理者制度を導入した運営手段も妥当と考える。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 指定管理者制度を導入して4年経過したところであるが、利用者も年々増加しており、成果が上がっている。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 総コストで比較すると毎年それほど変化はないが、利用者の増加により一人当たりコストは年々減少している。	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input checked="" type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 積極的に介護予防事業等に取り組むことで、一般高齢者や特定高齢者が好んで参加・利用しやすい施設を目指す。	(2) 23年度 改善すべき事項を実施する。
	(3) 22年度 指定管理者制度の基本協定の最終年度なので、平成23年度からの指定管理者及び、基本協定の内容について検討する。	
21年度の改善計画		
21年度の改善結果		
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)		
課長所見	指定管理の実績を検証し、今後の指定管理者公募に反映できるようにする必要がある。	